

◇調理実習の意味 7.11付け

先日の山本羽琉君こうちに続いて高知新聞声ひろばしんぶん 小学生特集しょうがくせいとくしゅうへ同じく6年生、濱崎雪さんの投稿が掲載されました。

普段勉強している家庭科の調理実習ですが、「ただ作って食べる」のではなく、そこには食というものの深い意味・役割やくわりがあるのではないかと書いてくれています。

調理実習でも家での食事についても考えてみるのも大切ですね。

「食べる」も勉強

濱崎雪

土佐清水市下ノ加江小6年

先日の調理実習では、みんなで作るより、食べるこの方が楽しかったです。

調理実習は、「作る」ということだけでなく、「食べる」というところまでだと思います。

理由は、野菜を切ったりいためたりするのは、もちろん楽しいです。でも、それは料理をしていることだけでなく、「みんな

るからだと思います。「みんなです」って「作る」というのは、作ったご飯を食べるのにも当てると思います。

調理をするから「調理実習」というのかもかもしれません。でも、みんなで仲良く、作った料理を食べるから、料理がより楽しくなって、好きになるのだと思います。

だから私は、調理実習は「作る」ということだけでなく、みんなです「食べる」ということでも調理実習の勉強なのだと思います。